

みしま



2012
5

広報みしま No. 230

外で遊んでも大丈夫。

東京電力福島第一原発の事故以来、特に子どもへの放射能の影響を心配する生活が続いてきました。やっと雪が解け、春らしい陽気となってきた4月19日、三島保育所の園庭の環境放射線を測定しました。地上高50～100cmでおおむね0.1 μ Sv/hシーベルト毎時、地面につけた状態でおおむね0.2 μ Sv/hシーベルト毎時で、安心できる範囲と考えられます。

東日本大震災・福島第一原発事故の経緯	
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生 マグニチュード 9.0 最大震度 7 県内の広い範囲で震度 6 強、強い余震続発 東北から関東の太平洋沿岸に大津波襲来、多くの命が犠牲に
3 月 12 日	福島第一原発 1 号機建屋が水素爆発 半径 20km 以内の地域に避難指示
3 月 14 日	同 3 号機建屋が水素爆発
3 月 15 日	同 2 号機で爆発音
	以降、広範囲の放射能汚染が明らかとなる

当町での経緯	
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生、役場では震度 3 を観測、町内では大きな被害なし 災害支援対策本部を設置
3 月 13 日	義援金受付開始 猪苗代町の断水地区に給水車を出す
3 月 16 日	浜通り・中通りからの避難者が流入、旅館・民宿等で受け入れに協力 (以降 4 月上旬まで、いわき市から 119 人のほか約 300 人が滞在) 救援物資受付開始
3 月 18 日	救援おにぎり作り開始 (23 日までに約 6,900 個を県内避難所に届ける)
3 月 20 日	役場付近の空間放射線量 0.38 μ Svシーベルト毎時
3 月 26 日	町内避難者に炊き出し実施
3 月 28 日	町内避難児童に遊びの広場を提供 (3 月 30 日、4 月 5 日にも実施) 救援食糧受付開始
4 月 2 日	いわき市四倉の避難所 (四倉高校) で炊き出し実施 (20 人が参加)
4 月 9～10 日	いわき市四倉での家財搬出・土砂撤去等支援活動 (延べ 80 人が参加)
4 月 25 日	役場付近の空間放射線量 0.10 μ Svシーベルト毎時、以降ほぼ一定に推移
5 月	IORI 倶楽部がいわき市などで木造仮設住宅建設着工 (96 棟 206 戸を建設) 風評により観光入込数減少、農産物等に大きな影響
6 月	義援金＝ 5,981,829 円、救援物資＝ 72 種 4,042 点 救援食糧＝ 47 種 689 点、米＝ 300kg (6 月時点)
7 月 28～30 日	新潟・福島豪雨、只見川の氾濫により流域町村で浸水・橋梁流失など甚大な被害発生 (当町では床上浸水 3 棟、7 世帯 16 人に避難指示・勧告)
10 月 24 日	東京電力による原子力損害賠償説明会開催
11 月	各地区に環境放射線モニタを貸与
平成 24 年 1 月	放射能簡易測定機を導入、町による食品等の検査開始
1 月～ 2 月	地区座談会開催、放射能問題等について説明



平成 23 年 4 月 9 日・10 日、いわき市四倉での支援活動が行われた。土砂撤去や家財運搬など 2 日間の作業に、当町から延べ約 80 人のボランティアが参加した



大地震から 1 週間後、各地区、飲食店、赤十字奉仕団などの協力で、おにぎり作りが始まり、約 6,900 個が当町から会津地方振興局を通じて各地の避難所に届けられた



平成 23 年 10 月 24 日、東京電力による原子力損害賠償説明会が町民センターで行われた。出席した農業や観光業などの事業者からは不満が相次いだ



放射能

町では放射能問題について、町民の皆さんに説明し、線量測定などの対策をとっています。しかし非常に解決困難で、分からないことが多い問題であり、国や県としても史上初めての災害です。町として地区座談会で説明し、その内容を広報したところですが、町民の皆さんはまだまだ不安を抱えていることと思います。今まで経験したことのない、見えない不安の中で、わたしたちにできることは何でしょうか。

「フクシマ」の名が世界中に報じられた原発事故から 1 年 2 カ月。避難を余儀なくされた人々は、その多くが今もふるさとを遠く離れ、つらい生活を強いられています。

未曾有の大地震と大津波で約 1 万 9 千人の死者・行方不明者を出した東日本大震災。その直後に発生した福島第一原発の事故により、放射性物質が広範囲に拡散しました。水素爆発を起こし骨組みだけとなった原子炉建屋の映像に、誰もが目を疑いました。浜通り、中通りの多くの地域では、震度 6 の強い揺れと、放射能の恐怖に人々はパニックとなり、当町でも 3 0 0 人近い避難者を受け入れました。原発周辺の地域は強い放射能によつて汚染され、1 年以上たった今でも極めて深刻な放射線量が計測されています。除染・復旧のめどは立つておらず、双葉郡内などの広い範囲が「警戒区域」となっています。

当町の環境放射線量は、おおむね 0・1 μ Svシーベルト毎時で、安心できる範囲と考えられます。食品については、これまでの検査では高い線量を示す結果は出ていません。町では今後も不安を解消するために、放射能検査を継続していきます。

4月から適用された 食品中の放射性セシウム規制値

単位：ベクレル/kg

食 品 群	規制値
飲 料 水	10
牛 乳	50
一般食品	100
乳児食品 (粉ミルク、ベビーフードなど)	50

出荷するものは必ず検査を

販売を目的に出荷される農産物等については、品目ごとに検査を行い、規制値を超えた場合には出荷が制限されます。またすでに出荷された農産物・食品等から規制値を超える放射線量が検出された場合は、出荷者が回収等の責任を負うことになりますので、必ず出荷前の検査をお願いします。また自家消費用の農産物等についても、安心のために検査をお勧めします。

☎ 放射能検査室（道の駅2階） ☎ (52) 3511

※検査を申し込む場合は、あらかじめ電話連絡をお願いします。（テレビ電話はありませんので一般電話でおかけください）



町では道の駅尾瀬街道みしま宿2階に放射能検査室を設置し、放射能簡易測定機により食品等の検査を実施している



コンピュータによりヨウ素131、セシウム134、セシウム137の量が解析され、グラフで図示される。検査結果は報告書により本人にお知らせする



空気は大丈夫。食べ物は…

見えない不安にどう対処するか

環境放射線量は安全な範囲
ホットスポットは今後調査

当町の環境放射線量は、現在測定されている結果を見る限り、安全な範囲と考えられます。測定結果が自動送信されている可搬型モニタリングポストが、役場庁舎裏と間方集会所に設置されており、その結果は新聞にも毎日掲載されています。また三島保育所や三島小学校など町内5カ所に、リアルタイム線量測定システムが設置されており、その測定結果は文部科学省ホームページなどで公表されています。

町では今後、局地的に高い放射線量の出ている場所（ホットスポット）がないか調査し、もし高い線量が計測された場合には、除染などの対応を行う予定です。

出荷品目は県と町で検査
自家消費用も町で検査

販売を目的に出荷される山菜や野菜などの農産物については、県と町が品目ごとに検査を行い、規制値を超える線

量が計測された場合、当町からの出荷が制限されます。町では随時、町内の農産物を収集し検査を実施します。

町が道の駅尾瀬街道みしま宿2階に設置している放射能検査室では、簡易測定機による検査を行っています。販売を目的に出荷するものだけでなく、自家消費用の農産物も受け付けていますので、安心のために利用していただきたいと思います。なお検査には1リットル程度の量が必要ですので、多めの準備をお願いします。

不安ゼロを目指して
できる限りの対応を

現実として、山菜でも畑の作物でも場所によって違うことが想定されるので、100%安心とはいえませんが、例えば、ある山菜が不検出だったとしても、別な場所から採取された山菜からは検出されることもあり得ます。しかし全部を検査することは困難です。現在のところ、町内の農産物などから非常に高い放射線量が検出される可能性

リアルタイム線量測定システム

〔町内の設置箇所〕
三島保育所
三島小学校
三島中学校
森の校舎カタクリ
町民運動場
計5カ所



可搬型モニタリングポスト

〔町内の設置箇所〕
役場庁舎裏
間方集会所
計2カ所

※環境放射線量の測定結果は、新聞に毎日掲載されているほか、文部科学省ホームページで公表されています。

◎リアルタイム線量測定システム

<http://radiomap.mext.go.jp/ja/>

◎可搬型モニタリングポスト

<http://www.r-monitor.jp/>

は低いと思われる。また一般食品で1kg当たり100ベクレルなど、4月から適用された規制値は、安全確保のために極めて厳しく設定されたものです。町では各地区の山菜を検査するなど、できる限り安全を確保できるよう努めていきます。町民の皆さんも放射能検査室を利用し、「見えない不安」を少しでも解消するようお願いいたします。



3.11を忘れない。

災害時避難所看板設置箇所	
町民センター	森の校舎カタクリ
宮下活性化センター	交流センター山びこ
桑原集会所	生活工芸館
大登生活改善センター	三島小学校
川井集会所	三島中学校
桧原多目的集会所	三島保育所
滝谷集会所	町民運動場
大谷活性化センター	
浅岐集会所	
間方集会所	
西方ふるさとセンター	
大石田生活改善センター	
名入集会所	
滝原林業集会センター	
早戸生活改善センター	

災害が起きたら 隣近所一緒に 避難所へ

災害時避難所に看板を設置しました

☎ 問 役場 総務課
(48) 5 5 1 1

町では各地区の集会所など、災害時に避難所となる施設22カ所に看板を設置しました。地震などの災害時には、町は被害状況に応じて避難の指示・勧告等を出します。町民の皆さんは、隣近所で声を掛け合い、指定された避難所に避難してください。

雨が続いたら 土石流の危険

土石流危険区域を
集会所等に掲示しました



町では町内7カ所の土石流危険区域の図および注意事項等を、該当地区の集会場等に掲示しました。土石流発生危険がある場合には、危険区域にある世帯に対し、町から避難指示・勧告を出します。避難所となる集会所が危険区域に入っている場合もあり、その区域では集会所以外の場所に避難することになります。

土石流は雨が長く続いたときや、短時間に集中して雨量が増えたときなどに発生危険が高まります。昨年7月末の新潟・福島豪雨の際も、町内の多くの場所で土砂崩れが発生しました。雨量の多い状

態が続けば、大規模な土石流も想定しなければなりません。危険区域に該当する地区の皆さんは、区域の範囲を確認し、雨量が増えた際は十分ご注意ください。

☎ 問 役場 総務課
(48) 5 5 1 1

放射能検査結果

三島町 放射能検査室（道の駅尾瀬街道みしま宿 2 階） ☎ (52) 3511

農産物・食品・水など

品名	検査日	採取場所	放射性物質（ベクレル/kg）		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
水道水	2月22日	宮下	不検出	不検出	不検出
清水	2月22日	高清水	不検出	不検出	不検出
	3月30日	大谷	不検出	不検出	不検出
	4月12日	桑原	不検出	不検出	不検出
	4月13日	浅岐	不検出	不検出	不検出
あさつき	3月30日	大石田	不検出	不検出	不検出
	4月4日	西方	不検出	不検出	不検出
	4月11日	桧原	不検出	不検出	不検出
	4月13日	滝谷	不検出	不検出	不検出
	4月16日	宮下	不検出	不検出	不検出
	4月16日	大谷	不検出	不検出	不検出
	4月17日	桑原	不検出	不検出	不検出
	4月18日	宮下	不検出	不検出	不検出
ふきのとう	3月16日	柳津町西山	不検出	不検出	不検出
	3月29日	川井	不検出	不検出	不検出
	4月2日	高清水	不検出	不検出	32
	4月9日	西方	不検出	不検出	不検出
	4月10日	川井	不検出	不検出	不検出
	4月11日	早戸	不検出	不検出	不検出
	4月13日	浅岐・大谷	不検出	不検出	ND
	4月17日	宮下	不検出	不検出	不検出
	4月17日	宮下	不検出	ND	35
	4月17日	名入	不検出	不検出	不検出
切り干し大根	4月17日	桑原	不検出	不検出	不検出
しいたけ	4月18日	名入	不検出	31	59
干しいたけ	4月4日	西方	不検出	ND	28
干しきくらげ	4月5日	浅岐	不検出	ND	ND
米	3月27日	大谷	不検出	不検出	不検出
	3月30日	大石田	不検出	不検出	不検出
	3月13日	大登	不検出	不検出	不検出
	3月19日	浅岐	不検出	不検出	不検出
	4月3日	高清水	不検出	不検出	不検出
クレソン	3月29日	浅岐	不検出	不検出	不検出
じゃがいも	3月6日	大登	不検出	不検出	不検出
	3月21日	桑原	不検出	不検出	不検出
白菜	3月8日	西方	不検出	不検出	不検出
大根	2月22日	大登	不検出	不検出	不検出
	2月22日	宮下	不検出	不検出	不検出
	3月8日	西方	不検出	不検出	不検出
玉ねぎ	3月14日	宮下	不検出	不検出	不検出
小豆	3月13日	大谷	不検出	不検出	不検出
そば	3月8日	西方	不検出	不検出	不検出
えごま	3月23日	滝原	不検出	不検出	不検出
	4月3日	滝谷	不検出	不検出	不検出
えごまの葉	4月6日	川井	不検出	不検出	不検出
凍み大根	3月13日	名入	不検出	不検出	不検出
	4月2日	川井	不検出	不検出	不検出
青豆	4月3日	滝谷	不検出	不検出	不検出
ぬか	4月3日	浅岐	不検出	不検出	不検出

※ ND は検出下限値（20 ベクレル/kg）以下を示します。

非食品

品名	検査日	採取場所	放射性物質（ベクレル/kg）		
			ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
粳穀	3月13日	大谷	不検出	不検出	不検出
まき	3月6日	間方	不検出	62	66
ナラの木	3月7日	桧原	不検出	81	131
杉の葉	4月10日	川井	不検出	410	537
たんぽぽ	4月16日	宮下	不検出	不検出	不検出
たい肥	4月16日	大谷	不検出	22	36
落ち葉	4月18日	高清水	不検出	258	337
焼却灰	2月27日	宮下	不検出	680	910
	2月27日	大登	不検出	1,910	2,520
	3月5日	間方	不検出	2,890	3,720
	3月5日	名入	不検出	938	1,100
	3月5日	滝原	不検出	3,550	4,550
	3月12日	早戸	不検出	1,810	2,850
	3月12日	桧原	不検出	537	761
	3月26日	川井	不検出	7,100	9,150
	3月26日	桑原	不検出	133	193
土壌	4月6日	西方	不検出	2,780	3,730
	4月9日	川井	不検出	10,400	13,700
	3月13日	大谷	不検出	310	344
	3月28日	川井	不検出	87	95
	4月3日	浅岐	不検出	74	90
	4月13日	桧原	不検出	107	140
	4月18日	高清水	不検出	36	43

焼却灰からは高い放射能が検出されています。焼却灰を扱う際には、吸い込まないようにマスクをし、ゴム手袋等を着用してください。また焼却灰を畑にまいたり、あく抜きなど食品の加工に使用しないでください。焼却灰はビニール袋に入れ、人が近寄らない場所に保管してください。町では焼却灰の処分について検討中です。

放射能の単位について

ベクレル

放射性物質が放射線を出す能力を表す単位です。検査では密閉された容器に検体を入れ、核分裂によって生まれた放射性物質（ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137）を検出します。また放射性物質は永遠に残るものではなく、放射線を放出しながら減っていきます。半分に減少するまでの時間（半減期）は、ヨウ素 131 が約 8 日、セシウム 134 が約 2 年、セシウム 137 では約 30 年といわれています。

※食品中の放射能は、各地区に貸し出している環境放射線モニタで計測することはできません。

シーベルト

放射線による人体への影響度を表す単位です。一般に公表されている環境放射線量の単位は、マイクロシーベルト毎時で、1 時間当たりの影響度を示しています。

国は環境放射線による年間の被ばく量の基準を 1 ミリシーベルト（＝ 1,000 マイクロシーベルト）としており、屋内・屋外的生活環境などを考慮して 1 時間当たりに換算すると、約 0.23 マイクロシーベルト毎時となります。



自転車で宮下町内を走り、交通ルールを学んだ児童たち

自転車は、自動車と同じです 三島小で交通教室

三島小の交通教室は4月12日に行われ、児童たちが交通ルールを学びました。指導した三島駐在所の松本哲^{さか}巡查長は「自転車で人をはねる事故が増えています。自転車は自動車と同じで歩行者優先です。また足が地面に着くか、ブレーキは利くかを確認し、ヘルメットをかぶって乗りましょう」と話しました。児童たちは実際に町内に出て、安全な通行を訓練しました。



青木基重宮司のお払いにより無火災を祈願した

村を焼き尽くした宮下大火を忘れずに 消防団宮下班の無火災祈願

消防団宮下班による無火災祈願は4月11日、三島神社で行われました。昭和17年の4月11日に発生した宮下大火は、集落全体に燃え広がり、ほとんどの民家が全焼しました。このような大惨事を二度と起こさないために、毎年この日に無火災祈願を行っています。現在の宮下の家並みは、大火後の復興で築かれ、切妻・真壁などが特徴の木造家屋が今も多く残っています。



保護者と手をつなぎ横断歩道を渡る子どもたち

怖いと思ったら大声。おまわりさんと約束 三島保育所で親と子の安全教室

三島保育所の親と子の安全教室は4月20日に行われ、子どもたちが事件や事故に遭わないための約束を学びました。会津坂下警察署の坂本晴香少年警察補導員が講話し、「知らない人にはついていかない」「怖いと思ったら大声を出す」などの注意点を子どもたちに分かりやすく話しました。その後、子どもたちは保護者とともに外に出て、交通ルールを守って歩きました。



町民センターで行われた町老人クラブ連合会総会

心のきずなを大切に、今年も元気に 町老人クラブ連合会総会

町老人クラブ連合会総会は4月20日、町民センターで行われ、多くの会員が出席しました。五十嵐敏会長は「放射能の影響で老人クラブ会員が散り散りになっている町村もある中で、三島では活動できることをうれしく思います。心のきずなを大切にしていきましょう」とあいさつしました。総会では事業計画および予算が承認され、今年度も楽しく健康づくり事業等が行われます。

5人の入学式、一人一人を温かく祝福 全校児童は61人、少ないからこそ高められる教育を目指す



この日は雪が降り、残雪も多い中での入学式。5人の新1年生は夢をふくらませ、楽しい学校生活をスタートさせた。
新1年生（平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ）
（左から）星明音里さん（西方）、二瓶教香さん（西方）、菅家大貴くん（川井）、五十嵐望くん（大谷）、飯塚真林さん（西方）

三島小入学式は4月6日に行われ、男子2人、女子3人、計5人が入学しました。新1年生は一人一人名前を呼ばれると、元気に「はい」と返事をして姿勢正しく起立し、教科書と黄色の帽子を佐藤則之校長から受け取りました。佐藤校長は式辞を述べ、「あたたかい言葉、あとしまつ、あんぜんの3つを約束してください」と話しました。また北館長一教育長が告辞に立ち、「車に気を付け、元気よくあいさつし、早寝早起き朝ごはんを守ってください。保護者の皆さまには基本的な生活習慣のしつけをお願いします」と話しました。続いて二瓶隆司町長、角田伊一町会議長、齋藤行紀父母と教師の会会長が祝辞を述べました。保護者を代表して、二瓶仁志さん（西方）があいさつしました。



大人への階段を一步上った11人の新入生

自ら学ぶ、たくましい生徒になって 三島中に11人が入学、全校生徒は30人

三島中入学式は4月6日に行われ、男子6人、女子5人、計11人が入学しました。星信男校長が式辞を述べ、「人生を生きるたくましい心と体を養ってください」と話しました。また北館長一教育長が告辞を述べ、「中学の3年は人生の基礎を養う時期です。夢を持ち努力してください」と話しました。新入生を代表し、大竹昌寿くん（滝谷）が誓いの言葉を述べました。



保護者と一緒に元気に入所した子どもたち

24人が元気に入所しました 三島保育所入所式

三島保育所入所式は4月4日に行われ、ほし組（5歳児）8人、ばら組（4歳児）10人、はと組（3歳児）1人、もも組（3歳未満児）5人、計24人が入所しました。この日は季節外れの雪が降る荒れた天気。外にはまだ数十cmの積雪がありました。矢澤源成所長は「おはよう、いってきます、ただいま、おやすみなさいをきちんと言いましょう」と子どもたちに話しました。

保健・子育て 健康づくり

☎ 町民課 ☎ (48) 5565



schedule

● 4 カ月児健診

5 月 8 日(火) 11:15 ~ 坂下厚生総合病院

● 乳幼児健診

5 月 17 日(木) 13:10 ~ 町民センター

● 足腰げんき教室

◎室内運動編

5 月 8 日(火) 13:30 ~ 町民センター

6 月 5 日(火) 13:30 ~ 町民センター

◎水中運動編

5 月 30 日(水) 13:00 町民センター集合

(西会津町民プールへバスで送迎)

● 機能訓練会

5 月 9 日(水) 14:00 ~ 福寿草

● 心の健康相談 (※事前申し込み必要)

5 月 7 日(月) 13:30 ~ 福寿草

● 心配ごと相談

5 月 17 日(木) 9:30 ~ 福寿草



いつまでも元気で
写真提供／中丸一雄さん(宮下)

県立宮下病院から



黒沢 正喜 院長

4 月 1 日付けで県立宮下病院院長に就任しました黒沢正喜です。長い間、当地域の医療を守ってこられた板橋前院長が築いた当院の使命、役割を受け継ぎ、地域に貢献する病院を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、私は、へき地拠点病院である当院の使命として以下の3つを考えております。

①他病院と連携した適切な医療の提供

当院は、救急医療にも極力対応しておりますが、医師等のスタッフ、治療に必要な医療機器に限られておりますので、病気を的確に選別して会津若松市内の病院へ依頼するなど、皆様に適切な治療を受けていただけるよう心掛けていきます。

②地域医療を担う町村診療所への支援

当院では、金山町と柳津町の診療所に医師を派遣し診療を手伝っています。各診療所の先生方の負担を軽減することにより、間接的に管内町村の医療に貢献できると考えております。

③地域住民の健康増進への支援

これからは、病気の予防が大事です。当院では「院内健康教室」の開催や「出前講座」を通して、地域の皆様に病気の予防について勉強していただいています。今年度も楽しくて役に立つ内容で実施してまいりますので、近所の方を誘って気軽に参加してください。

また、この度の人事異動で、水野裕之医師、當重一也医師が異動となり、消化器が専門で内視鏡検査を得意とする愛澤正人医師、根本大樹医師が加わりました。新しい体制で、引き続き安全で安心な医療の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

ボランティア食改「和楽美の会」

ボランティア食改「和楽美の会」は、いつも和気あいあい、楽しく食生活を考える活動をしています。

☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5565



ボランティア食改「和楽美の会」

	氏 名	地 区
会 長	小 島 順 子	宮 下
副会長	鈴 木 昌 江	桧 原
庶 務	星 ハツ子	西 方
会 計	細 堀 ユ キ	宮 下
連絡員	五十嵐 ヨ シ	大石田
連絡員	栗 城 清 子	宮 下
	酒 井 ハナヨ	宮 下
	坂 内 アイ子	宮 下
	秦 愛 子	大石田
	渡 部 美智野	大石田
	秦 京 子	大石田
	角 田 千代子	川 井
	佐 藤 三枝子	桧 原
	鈴 木 タカ子	小 山
	小 柴 スイ子	高清水
	板 橋 喜代子	滝 原
	二 瓶 恵美子	大 谷
	角 田 キイコ	浅 岐
	菅 家 豊 子	間 方

有害鳥獣駆除員に 14 人を委嘱

有害鳥獣駆除員は、クマなどが出没し、住民に危害を加える恐れのある場合に、その駆除に当たります。クマを目撃しましたら、すぐに役場へご連絡ください。

☎ 役場 産業建設課 ☎ (48) 5566



二瓶町長から有害鳥獣駆除員の委嘱状が手渡された

有害鳥獣駆除員

	氏 名	地 区
隊 長	秦 正 信	大石田
副隊長	佐 藤 好 一	荒屋敷
	二 瓶 政 一	名 入
	阿 部 政 敏	桧 原
	阿 部 通 利	桧 原
	海老名 健	桧 原
	大 島 昇 一	浅 岐
	角 田 清 一	浅 岐
	二 瓶 義 徳	間 方
	菅 家 藤 一	間 方
	坂 内 澄 男	西 方
	小 松 信	西 方
	小 松 正 志	西 方
	青 木 正 幸	荒屋敷

平成 24 年度 三島町消防団組織

第 一 分 団

団 長	長谷川 誠
副 団 長	小 松 正 信

庶 務 部 長	(欠員)
車 両 部 長	小 島 純
訓 練 部 長	五十嵐 健 二
副 訓 練 部 長	(欠員)

分 団 長	二 瓶 義 徳
副 分 団 長	五十嵐 健 二

第一班(宮下班長)	栗 城 吉 也
第二班(桑原班長)	河 越 昭 利
第三班(高清水班長)	五十嵐 文 義
第五班(滝原早戸班長)	板 橋 勇 季
第六班(大谷班長)	五十嵐 修 一
第七班(浅岐班長)	大 島 昇 一
第八班(間方班長)	菅 家 哲 也

第 二 分 団

分 団 長	小 島 純
副 分 団 長	(欠員)

第一班(西方班長)	青 木 厚
第二班(大石田班長)	秦 和 幸
第三班(名入班長)	小 柴 信 人
第四班(川井班長)	長谷川 須美夫
第五班(大登班長)	五十嵐 義 幸
第六班(桧原班長)	片 山 真 一
第七班(滝谷班長)	大 竹 正 義

Library



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

Book Review

どんな仕事も楽しくなる 3つの物語

福島正伸 著
きこ書房

つまらない仕事はありません。仕事をつまらなくする考え方があるだけです。意味のない仕事はありません。意味のない仕事になってしまう考え方があるだけです。



グリム童話

あくまの三本の金のかみの毛

ナニー・ホグロギアン 再話・絵
あしのあき 訳
ほるぷ出版

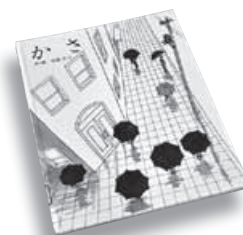
美しい挿絵で優れた昔話に新しい息吹を吹き込んだ作品。どんな悪の力もたくらみも、勇気と天恵に打ち勝つことはできないことを教えてくれます。



かさ

太田大八 絵
文研出版

赤い傘をさした女の子の物語。文がない、絵だけの絵本です。子どもの豊かな想像力をはぐくみます。



Information

県立図書館あづま号から約 100 冊をゆめぼけっとに



バスで本を貸し出す
県立図書館あづま号が
4月13日に訪れ、約
100冊の本をゆめぼ
けっとに置きましたの
で、皆さんご利用くだ
さい。

バスで移動する県立図書館あづま号

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエスト BOX にご応募ください。教育委員会で検討し、選定された本を購入します。

町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00

●お休み 年末年始

☎ 教育委員会 ☎ (48) 5599

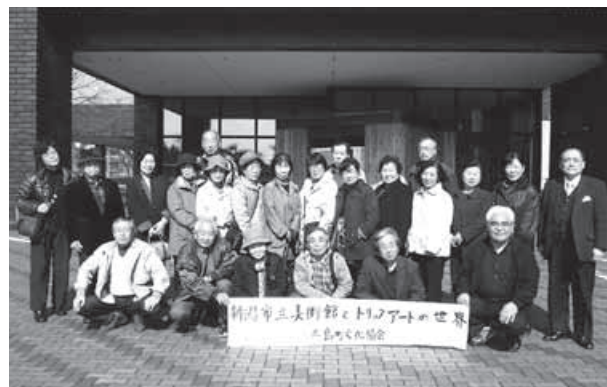
Culture



三島町文化協会

トリックアートの世界と出会う

新潟方面へ研修



新潟市美術館などを見学した町文化協会の研修参加者の皆さん

町文化協会は3月29日、新潟方面への研修を実施しました。研修には24人が参加し、新潟市美術館の「駒井哲郎展」と、SOWA美術館（寺泊）の「トリックアートの世界」を見学しました。

町文化協会には13団体が加入しており、100人前後の会員がいます。

歳時記

萌の会

岩削り越後に急ぐ雪解川	志田 たつの	春光やちよつと濃いめの茶を二つ	小柴 有美子
雪解けて遊ぶ子も無し荒れ校舎	片山 祐一	枯れ色の庭の彩り福寿草	小柴 盛雄
木の根開く音なき森に神の鈴	栗城 幸子	露味噌や回覧板の新しく	諸井 まさ子
春の香を放ちて芹は水に浮き	小平 佳子	それぞれに充ち満ちてくる木の息吹	佐藤 朋良子

今月の スマイル

4月19日撮影

三島保育所の窓から
「あ、カメラマン」と飛び出した笑顔。
お友達と毎日楽しく過ごしてね。



民話

第14話

鬼子母神伝説

あの恐ろしい面相をした「鬼子母神」のことを語ります。

昔、ずっと昔、鬼子母神には千人の子どもがいたのだ。おつかねえ面してるが、わが子のことはとてもめごがっていた。だけんじよ、鬼子母神は人間のこめらんどご、さらってきては食っていたんだそう。

そんじえ村の人たちは困っていたし、切なくて切なくて神様を頼み事した。神様は高い天から、鬼子母神のあり様を見ていなさったが、ある時、鬼子母神の子どもを一人隠してしまっただ。毎日千人の子どものごと数えでいた鬼子母神は、たつた一人わが子がないのに気がついた。気違いになつて探したのだ。

「おれの子がいねえ。おれの子がいねえ。だんじゃ、おれの子

食ったのはー」

嵐と一つになつて、村々探し回つた。

「おれの子がいねえ。一人たんにえ。にしゃがあ、おれの子さつたのはー」

とうとう神様んどごさ、飛び込んできた。神様は、

「お前は千人も子どもがいながら、一人いないと大騒ぎする。人間の子どもはお前のように、そんなにいっぱいの子はいないのだ。それをお前は一人食い、二人食い、何人の人間の子を食ったのだ。食つてしまつたら命が無くなる。大事な命のお」

神様に諭され、神様が袖の下に隠しておいたわが子を返されると、鬼子母神は大粒の涙を流した。

「今度は人間の子を食べてはならないぞ。食べたくなつたらこれを食べろ」と神様は、鬼子母神にイチジクの実をくれたのだ。

そして鬼子母神はすっかり改心して「子育ての神様」になつたのだ。

幼いころ聞いた「鬼子母神」の話です。

掲載協力者 長谷川三千代さん（川井）



2012 山と木の集い イベントのご案内

5月 12日㊥「栃の王国」春の見学会
5月 13日㊤ カッティングボード作り体験
6月 9日㊥・10日㊤ 第5回山と木の市場
7月 7日㊥ シナの樹皮採取・チェーンソー体験
9月 29日㊥「栃の王国」秋の見学会、木工体験
11月10日㊥「栃の王国」伐採見学会
12月 1日㊥ 製材見学会、即売会
問 山と木の集い実行委員会事務局
(会津桐炭(株)内)
福島県大沼郡三島町大字名入字下上ノ原 358
☎ 0241 (42) 7802
ホームページ <http://www.aizukiri.or.jp/>
問 森のしごと舎(土・日・祝日のみ営業)
※各種木工体験可能
☎ 0241 (48) 5833

これからの行事予定

5月3日(祝)～5日(祝)

鬼子母神例大祭 鬼子母神・西隆寺(西方)

5月3日(祝)～6日(日)

風っこ会津号運行(JR只見線)

5月16日(水)

奥会津三島編組品振興協議会・生活工芸運動友の会
総会 13:30～ 町民センター

5月23日(水)

商工会総会 10:00～ 商工会館

6月3日(日)

志津倉山開き 安全祈願 8:20～ 登山口

6月9日㊥・10日(日)

第26回ふるさと会津工人まつり 9:00～ 生活工芸館前
てわっさの里まつり 9:00～ 宮下町内
第5回山と木の市場 9:00～ 会津桐炭(株)内

そば 大石田地区 じゃがいも オーナー募集



大石田地区は、山間の傾斜地に形成された58戸の集落です。昔ながらの山村らしい景観を残しています。この集落で地元の皆さんと一緒に、農業体験をして楽しく過ごしませんか。

■オーナー料金 1組3万円
(ご家族など4人以内、就学前幼児は含みません)
そば粉2kg、じゃがいも10kg、山菜収穫分、地元野菜・きのこ等詰め合わせ、年越しそばセット、毎回の昼食代を含む

■プログラム(5回)
5月 20日㊤ 開始式、じゃがいも種まき、山菜採り(雨天の場合、ものづくり体験)
7月 14日㊥ 伝統行事「虫送り」、夏野菜の収穫
そば打ち体験、史跡探勝、ホテル観察
8月 5日㊤ じゃがいも収穫、そば種まき(雨天の場合、ものづくり体験)

9月 30日㊤ そば刈り取り、そば打ち体験
11月11日㊤ そば打ち体験、餅つき、収穫祭
※天候により収穫量が減る場合もあります。
※収穫祭は別途会費制(大人1,000円、子ども500円)
※内容を変更する場合もあります。

■集合場所
大石田生活改善センター
■時間 午前10時から午後3時まで
※7月14日㊥は「虫送り」行事体験のため、午後8時30分ごろの終了予定です。

■その他
①宿泊をご希望の方は町内温泉宿などをご紹介します。(お一人7,000円程度) ②昼食は、おにぎり、味噌汁、漬物などの郷土料理です。

■申込方法
任意用紙に「大石田オーナー申込」と明記し、①参加者全員の氏名・年齢・職業②住所③電話番号を記入の上、郵便またはファックスでお申し込みください。受付後、ご連絡いたします。

■申込・問い合わせ先
三島町役場 地域政策課 美しい村づくり班
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350
☎ 0241 (48) 5533 FAX 0241 (48) 5544

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では3月中、刑法犯は発生しませんでした。

万引きは泥棒です

当署管内において、万引きはならない犯罪の一つです。万引きは犯罪であることを家族で話し合ってくださいと思います。

★万引きはどのような犯罪なの？
万引きは窃盗罪で10年以上の懲役または50万円以下の罰金の処せられます。

★万引きはどこで多いの？
スーパー、ホームセンター、コンビニなどの商品が数多く置かれている店舗で多く発生しています。

★万引きをするのはどんな人？
子どもや高齢者が多い傾向があります。特に最近、お金を持っているにもかかわらず、金額の安い商品を万引きする高齢者が多くなっています。

★なぜ万引きは減らないの？
万引きを軽く考えているからではないでしょうか。どの店舗でも万引き対策のため、防犯カメラ設置や私服警備員の巡回を行っています。

万引きは、必ず捕まります。

街頭犯罪発生状況(1月～3月)

区 分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍び込み		
事務所荒らし	1	
出店荒らし	1	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい	1	
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	3	0
全刑法犯		

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

職場の労使 困りごと相談会

県と県労働委員会では、下記の日程で皆さんの職場の中で起きている賃金や労働条件をめぐる労使間の困りごとについて、出張相談を行います。相談は無料です。また秘密は厳守しますので、お困りの方はご利用ください。

●日時 7月8日(日)
午前10時～午後3時
●場所 会津若松市「会津稽古堂」
問 県労働委員会事務局(県庁内)
☎ 024 (521) 7594
メール labour-rc@pref.fukushima.lg.jp
※労使困りごと相談は、来所、電話、メールで随時受け付けておりますのでご相談ください。

労働保険の年度更新 申告期限は7月10日です

事業主の皆さんは、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、福島労働局において手続きをされますようお願いいたします。
問 福島労働局 総務部
労働保険徴収室
☎ 024 (536) 4607



三島町の人口と世帯 (4月1日現在)

人口	1,925	-26	出生	0
男	918	-17	死亡	5
女	1,007	-9	転入	1
世帯	824	-8	転出	22

※住民基本台帳による数値です。

県立図書館の 宅配サービス

距離や時間の都合等で県立図書館を利用できなかった皆さんにも、ご利用いただくために宅配(有料)による貸し出しを行っています。

●宅配地域 県内
●有料宅配を利用できる方
県立図書館に利用登録されている方(登録されていない方は郵送で登録申請ができます)
●利用できる資料・冊数・期間
資料 貸し出し可能な所蔵資料
冊数 10冊以内
期間 15日以内
(往復の配送期間を含む)

●申込方法
所定の申込用紙に記入の上、郵便、ファックス、メールで申し込むことができます。

●宅配料
利用される方の負担となります。料金着払いで発送いたします。

●返却方法
返却期限までに郵送、宅配便などにより送り主負担で返送してください。また県立図書館、遠隔地返却を受け付けている市町村図書館でも返却できます。

問 県立図書館 資料情報サービス部
〒960-8003 福島市森合字西養山1
☎ 024 (535) 3218
FAX 024 (536) 4787
メール ippan@library.fks.ed.jp

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

諏訪 守様(浅 岐)
五十嵐 豊一様(西 方)



宮下の家々の軒下に、それぞれの屋号を表示した看板が設置された。看板は会津大学短期大学の柴崎恭秀准教授がデザイン。大火から復興した木造建築の町並みに、落ち着いた統一感が生まれた



伝統の町並み 保存へ第一歩

宮下町内に屋号の看板

一歩一歩
地区
づくり
File 1

宮下・荒屋敷地区



地区づくりをリードする
佐久間 宗一 さん(宮下)

地区の皆さんが屋号を目にするたびに「美しいまちづくり」への想いを深め、一つのゴミも吸い殻もない地区になればと思います。

黒地に白が際立つ看板が通りを飾り、町並みに統一感が増しました。

宮下地区で4月20日、家々の軒下など31カ所に、屋号を表示した看板が設置されました。伝統的な町並みを保存しようと、同地区が県・町の補助事業により実施したものです。今回は県道沿いを中心に設置し、今後は小径沿いの家屋にも設置する予定です。

同地区は昭和17年の宮下大火により、ほとんどの家屋が全焼。現在の町並みは、大火からの復興により形成されたもので、切妻・真壁などが特徴の木造建築が今も多く残っています。隣接する荒屋敷地区とともに、木造建築の保存や、家々の間を通る小径の

活用など、「町並み景観を生かしたおもてなしの地域づくり」に取り組んでいます。

活動をリードしてきた佐久間宗一さん(宮下)は「今回設置した屋号の看板は、木造建築の町並みのイメージを強調するものです。また先祖から引き継いできた屋号を表示することで、伝統的な建築を守る意識が高まればと思います」と話しています。

さらに4月26日には、公募により決まった小径の愛称を書いた道しるべが設置されました。今後は「町全体を庭のように」を目標に、塀のない庭の景観美化を呼び掛け、小径から見える景観を楽しみながら回遊できるようにすることを目指しています。



町民課

角田 伊織

つのだ いおり 23歳 川井

心の拠り所である三島町で働くことを誇りに思います。大学では国家の基本法である憲法や、市民相互を規律する民法を中心に学び、リーガルマインドを身に付けました。正義感と信念を持ち、大学で学んだ知識を生かして、住民生活の向上と町の発展に貢献できるよう一生懸命がんばりますのでよろしくお願いいたします。

▷学歴=帝京大卒、▷趣味=旅行、▷好きな言葉=希望



総務課

大竹 夏奈

おおたけ かな 18歳 滝谷

私は今まで18年間、この三島町で生まれ育ち、たくさんの方々に見守られてきました。高校を卒業したばかりで、社会の一員としての自覚の重さから不安と緊張でいっぱいですが、18年間温かく見守ってくださった町の皆さまに恩返しのつもりで精一杯がんばりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

▷学歴=川口高卒、▷趣味=スポーツ(球技全般)、▷好きな言葉=努力に勝る天才無し



産業建設課

小柴 成人

こしば なるひと 26歳 高清水

長い間、町を離れていましたが、昨年の東日本大震災の際、想ったのは家族、そして生まれ育った三島町のことでした。幸いにもこのような形で三島町のために働く機会を頂きました。皆さまのために若い自分の力で出来ることは何なのか、常に考えながらがんばってまいります。

▷学歴=会津高卒、▷趣味=ギター・映画鑑賞、▷好きな言葉=いかなる教育も逆境に及ぶものはない

編集後記

▶「どうしてこんなことに…」放射能という難題が常につきまとう生活。どこに向けてよいか分からない怒り。子どもの将来への不安。一方で原子力という技術に依存してきた社会の一員だという事実▶皆さんも放射能について、さまざまなことを思い、悩んでいるのではないのでしょうか。わたしたち一人一人が、この取り返しのつかない災害の生き証人です。考え続け、最善を尽くし、そして後世へ伝えましょう。二度と繰り返してはならないことを。

広報みしま町民記者を公募します

町では「広報みしま」への寄稿を行っていただく地区広報員(町民記者)を設置する予定です。すでに各地区に推薦のお願いをしていますが、町全域の話題等について取材していただける方を公募します。

◆公募人数=2人程度◆任期=1年(ただし再任を妨げません)
◆業務=「広報みしま」への寄稿(※必ず定期的にとということではありませんが、可能な範囲でご協力をお願いするものです)
◆内容=町内の各種活動・話題等で、広報する内容として認められるもの◆方法=写真と記事の提供◆貸与=コンパクトデジタルカメラ1機、腕章◆報償金=寄稿1件につき2千円
【応募先】役場 地域政策課 美しい村づくり班 ☎(48)5533



奥会津編み組細工
(ヒロロバッグ)

作る人の手から 使う人の手へ



奥会津編み組細工
(山ブドウかご)



工人まつり／三島町と全国各地から約 160 人の工人が集まり、ナラ林に店を並べます。

第 26 回 ふるさと会津 工人まつり 6/9(土) 10(日)

会場／三島町生活工芸館前

時間／9 日④ 9:00～16:00、10 日⑤ 9:00～15:00

▶全国各地の手作り工芸品を展示即売

▶地元料理の模擬店

④ 三島町生活工芸館 ☎ 0241 (48) 5502

同時開催

てわっさの里まつり 会場／宮下町内

第 5 回 山と木の市場 会場／会津桐炭(株)内
(工人まつり会場から徒歩 5 分)

お願い

工人まつり会場周辺への駐車はできません。臨時駐車場から巡回バスにより、工人まつり会場・てわっさの里まつり会場へ送迎いたしますので、係員の誘導に従ってください。



志津倉山／雪解け水の沢を横目に、ブナ原生林や雪食地形の急峻な道を歩きます。

ブナの森へ行こう。 志津倉山開き 6/3(日)

▶標高 1,234m ▶歩行時間＝約 4 時間

7:40 送迎バス出発(会津宮下駅前)

8:20 登山口にて安全祈願、登山開始

11:30 山頂にて抽選会

14:30 登山口から送迎バス出発

15:00 会津宮下駅到着

※登山口には駐車場がありませんので、会津宮下駅前からの送迎バスをご利用ください。

④ 三島町観光協会 ☎ 0241 (48) 5000

